

南河原中だより

令和2年 5月 7日発行 第2号 行田市立南河原中学校

目指す学校像

『笑顔と成長が見られる学校』

生徒が学びたい、保護者が通わせたい、
教師が働きたい、地域が協力したい学校

今だからこそできること

校長 加藤 裕一

学校のホームページにも掲載しましたが、インターネットで今できることを検索していたときに、見つけた文章を抜粋して再度紹介します。今月いっぱい臨時休校が延長された今だからこそ、時間がある今だからこそできることではないでしょうか。参考にさせていただいたら幸いです。

日本は緊急事態宣言を発せざるを得ない状況になってしまった。こんな大変な状況でも、エッセンシャルワーカーと呼ばれる人たちの懸命の努力でこの社会は支えられている。今回の新型コロナの前線では、何が正しいかはわからないが、勇気を持って、困難な問題に挑戦し、諦めずに治療し、必ず病気を治すという強い気持ちで働いている人達が沢山いる。そんな中、中学生という多感な時期の子どもたちからも様々なメッセージが大人たちに送られてきているはずだが、大人はどのように対応していけばよいのだろうか。

先生も含め大人が心掛けることは子ども、生徒からのメッセージをきちんと聞いてあげるとのことだ。そして、これは実に難しいことだが、まずは共感しよう。人は、特に子どもは、自分のことを理解してくれている、わかってくれていると感じない限り、本当のことは話してはくれないものだし、話は聞いてくれない。

子ども 「どこかに遊びに行きたいね！」

保護者 「何馬鹿なことを言っているの、外出禁止。部屋で勉強でもしなさい。」

子ども 「・・・」

という会話が殆どだろう。でもこの会話の後に勉強する子どもはいない。

子ども 「どこかに遊びに行きたいね！」

保護者 「学校も休校で退屈だよ。どこかに遊びにでも行かないと気分も晴れないよね。」

子ども 「そうなんだよ。でも危ないかな？」

保護者 「無症状の人も多いうつから、知らない間に感染する可能性もあるし、危ないって思うけど、外出する時の良い感染防止策があるか調べてみてよ」

子ども 「そうだね。調べてみるね。」

そんな会話できるかっていう保護者が多いのは分かっている。だけど、子どもだって遊びに行くのが良くないことだってことはわかっている。

子ども 「調べてみたけど、大変だよ。イタリアとかアメリカのお医者さんたちが投稿しているけど、世界はとんでもないことになっている。外に行

くのは怖いよ。マスクしていても感染を防ぐことは出来ないって！」
保護者 「そのお医者さんたちが言っていることは正しい情報だとは思いますが、もっと調べてみてよ。マスクについてももっと調べてみてよ。外出する時にはどうすれば良いのか？スーパーで買い物をするには何に気を付ければ良いかな？」

子ども 「わかったよ。調べてみるね。」

子どもの話をよく聴き、共感することにより、子どもにとって退屈な1日を変えることが出来るはずだと思う。

教育の現場で出来ることはもっとあるはずだ。

リモート学習もビデオを観て、課題を提出するだけでは面白くない。こういう時だからこそ、リサーチする時間はたっぷりとれるので、科目横断的にテーマを設定し、生徒たちが自分達で、1、情報を収集し、2、仮説検証を繰り返し、3、分析し、4、判断し、5、決断し、6、実行する、そんなプロジェクトに取り組むのがよいと思う。

とても有意義な『学び』になるはずで、習得した『知識』を実生活で活かせる『知恵』と転換させる絶好の機会となるだろう。

4月の南河原中生の輝き



準備登校

4月7日、準備登校がありました。8日に入学式が挙げてきたのは、7日に準備登校で椅子をきれいに並べ、校舎内、体育館やその周りをきれいに掃除してくれた新2、3年生がいたからです。久しぶりに会えた仲間と新1年生のために、一生懸命に私語もせず頑張ってくれた先輩たちに感謝です！

入学式

4月8日、32名の新入生が南河原中生の仲間入りをしました。参列した生徒の態度、生徒会長の歓迎の言葉、新入生の誓いの言葉、どれをとっても大変素晴らしいものでした。中学校生活の1ページ目にふさわしい入学式でした。

お願い

①不要不急の外出を控え ②3密を避け ③手洗いを！

埼玉県、行田市の要請により、臨時休業を5/31まで再延長します。今まで連絡メール、HPを利用してeライブラリ、NHKおうちで学ぼう、子供の学び応援サイト等を紹介させていただきました。多くのご家庭の協力に感謝いたします。休業中の新たな課題としまして、ワーク等をご家庭に配布させていただきました。登校した際には学校でも確認をしますので、それまでご家庭でも見届けをお願いします。